



牧草刈り取り

第51回通常総会 全議案承認

6月5日、午前9時30分より浦幌町中央公民館にて第51回通常総会が開催されました。当日は正組合員242名中、本人出席82名、委任状出席10名、書面出席90名の合計182名出席のもと開会宣言がされました。

林組合長が開会挨拶を行い「昨年の本町農業は、記録的な大雪に始まり、高温干ばつ、さらに線状降水帯による豪雨といった気象災害に見舞われました。そうした状況下でありながら、令和3年度以来4年ぶりに農畜産物の取扱高で150億円を確保することができました。これはひとえに組合員の皆さまの不断の営農努力の積み重ねの賜物であり、加えて本日も臨席をいただいております町・行政はじめ各関係機関の皆さまによる長年にわたる生産基盤強化へのご支援のおかげであると、改めて敬意と感謝を申し上げます。生産現場におきましては経営コストの高騰・高止まりが続く、さらに今般の東情勢が追い打ちをかけ、経営環境は極めて厳しい状況が続いております。先日、公表された農作物価指数によれば、2020年からの6年間でコストは130%を超えており、農業所得率を著しく低下させる要因となっております。

ます。食料・農業・農村基本法の改正により、北海道が主要品目の主産地であることが明記されたものの、現在の営農環境を鑑みると、その期待に堪えることが困難になるのではないかと危惧しております。今後におきましても皆さまの思いや生産現場の課題を私共も責任をもって中央につなげさせていただきます。どうか所存です。」と述べました。

続いて浦幌町長井上亨氏、北海道信用農業協同組合連合会帯広支所長堀貴憲氏より祝辞をいただきました。その後、森彰人氏、山下恭平氏が議長へ選出され令和8年度事業計画の設定など全6議案を審議し、原案通り可決されました。



林組合長挨拶

令和7年度事業実績

総務事業

組合員皆様のご理解・ご協力による出資増口により、出資総額は11億7千1百万円（前年比98・5%）、純資産は31億4千4百万円（前年比101・1%）となりました。また、固定資産は計画に基づいた設備投資により11億6千4百万円（前年比95・2%）になりました。自己資本比率は前年比1・06ポイント増の27・17%、固定比率は前年比14・5ポイント増の261・4%となり、政令基準を上回る健全な財務状態を確保することができました。

信用事業

融資 手形貸付金は物価高騰や一部農作物の不作に伴う組合員勘定精算対応として増加し、3億8百万円（前年比3千7百万円増）となりました。証書貸付金は農業資金で機械導入や設備投資が進み、フルスペックローンの新規実行額が増加し、残高は36億7千9百万円（前年比1億1千8百万円増）、組合員勘定を含めた貸出金は41億8千9百万円（前年比1億9千4百万円増）となりました。

貯金

昨年度は12月に政策金利が0・75%まで引き上げられ、30年ぶりの高水準となる中、物価指数上昇や金利動向を注視し利率の引き上げを行いました。

取り組みとして顧客の利便性向上のため、JAバンク非対面チャネル（ア

プリ・ネットバンキング）の利用、資産形成・運用に向けた「農業者年金」「iDeCo」の推進を行い、貯金残高の伸長に向けた金利上乘せキャンペーンを実施しました。

貯金残高は、普通貯金（営農口を含む）と別段貯金（営農貯金含む）を併せ、104億1千4百万円（前年比6億8千6百万円減）となり、要因としては作柄による営農貯金の取崩と顧客の町外転居及び相続に伴う資金移動が主となりました。定期貯金は78億9千3百万円（前年比1億6百万円減）となり、総貯金残高は186億3千7百万円（前年比7億6百万円減）となりました。

共済事業

長期共済では建物構造区分の見直し及びがん共済の仕組改定を中心とした情報提供、保障提案に努めました。満期到来や解約等による減少もあり、期末保有高は294億9千3百万円（前年比97・9%）となりました。一方、短期共済は自動車共済見積キャンペーンを活用した広域世帯へのアプローチ、既契約者への保障拡充に重点を置き、契約件数は前年同期比99・6%、掛金は104・5%となりました。

購買事業

生産 生産資材事業は、物流コストの**資材** 上昇、円安の進行による供給価格の高止まりの中、予約購買と早期引き取りによるコストの低減・安定供給に努めました。

肥料は平均5・5%の価格上昇となりましたが、省力化に向けた高窒素・緩効性肥料銘柄の推進を行い取扱高は前年対比101・2%となりました。

農薬は高温による「てん菜褐斑病」の早期発生が予想されたため、技術情報を適宜発信し、早期防除と併せ病害虫対策の指導を行い発生抑制に努めました。また、早期取りまとめや大型規格の推進を行い、前年比96・7%、飼料では、配合飼料価格は値下げ傾向でしたが、第4四半期に原料価格の高騰等により大幅な値上げとなり同95・5%となり、生産資材全体では各種展示会や取りまとめ等の実施により、同103・6%となり、総体取扱高は同98・0%で30億1千9百万円となりました。

農機 農機具は大型農機やトラクターの供給が増加し前年対比135・3%、車両は同97・2%、整備購買品は同97・9%と前年並みを推移しました。農機整備事業の総体取扱高は、同117・0%の6億3千3百万円となりました。

年間整備取扱台数は、車検整備で軽自動車と乗用車の車検が減少し同97・3%、一般整備は前年並であったものの、農機具修理が大きく減少し前年比83・7%となったため、総体として88・1%の1,811台の実績となりました。

燃料 ガソリンの暫定税率が廃止され、事業 燃料価格の大幅な引き下げ要因となったものの、中東情勢の緊迫による供給リスクへの懸念で価格は再び高騰。政府補助金による激変緩和措置が



議長（左から）山下恭平さん
森 彰人さん

再開するなど構造的変化が混在する一年となりました。取扱高はガソリン・前年比93・0%、軽油・同99・0%、灯油・同97・3%、重油・同100・0%となり、総体取扱高は6億7千5百万円で前年比96・6%の実績となりました。また、油類取扱量では価格高騰による買い控えなどによりガソリンが前年比97・4%、軽油同97・0%となり、灯油は暖房用灯油での利用は伸びたものの小麦乾燥用の利用は減少し同96・3%となり、総取扱量は前年比96・9%の4,909klの実績となりました。

販売事業

農産 小麦は越冬前の積算温度も高かったことから生育は旺盛で高日遅れたものの4月の高温により回復傾向を示しました。6月には継続的な降雨が見られた一方、7月以降は高温少雨傾向となり登熟は急速に進み、収穫作業は平年より5日早く開始され、

おおむね順調に終了しました。収量は696kg/10aと平年を上回り前年比99・3%となりました。品質面では全量が1等Aランクとなりました。

豆類は大豆及び小豆の播種作業が遅れ低温の影響で出芽も遅延しました。菜豆類については作業が平年並みに進み、出芽も順調でした。開花期は平年より3〜8日早まりましたが、開花期前後の猛暑により小豆および手亡類において落花が発生しました。その後の高温少雨の継続により成熟期は大幅に早まりましたが、9月以降の降雨の影響を受け菜豆類では収穫作業の停滞が見られました。また、一部では二次成長による収穫作業の遅れもありました。品質面では、菜豆類に色流れや汚粒が散見され、大豆でもしわ粒やマメシンクイガによる被害粒が発生しました。収量は、小豆が240kg/10a（前年比100・0%）、金時169kg/10a（同108・3%）、手亡216kg/10a（同92・7%）、大豆360kg/10a（同107・1%）となりました。

馬鈴しよは4月下旬以降の断続的な降雨により播種作業が遅れ、5月下旬には低温が続く萌芽も遅れました。6月中旬以降は高温少雨が続き、茎長の伸長は抑制され、上いも数は平年を上回ったものの、小粒傾向となり収量は平年をやや下回りました。澱原用品種の収量は3,776kg/10a（前年比88・3%）となりライマン価は18・84%でした。

てん菜は、4月下旬の降雨の影響により作業が大幅に遅れましたが、播種後は気温が高く、適度な降雨もあった



J A綱領朗唱

ことから出芽・生育は順調に進みましたが、その後も一時的に低温の影響を受けたものの生育は順調に進み、平年並みの生育まで回復しました。しかし、初期生育の遅れにより根回りは平年をやや下回りました。病害虫では、平年より早くコトウガ、シロオビノメイガ、褐斑病の発生が見られましたが、防除の徹底により被害は抑制されました。収量は5,430kg/10aで前年比79・9%となり、糖分は15・3%と平年を下回りました。

全体として小麦と豆類は前年並みの実績を確保した一方で馬鈴薯及びてん菜は減収となり、あわせて低ライマン・低糖分の影響により精算額は大幅な減少となりました。総支払高は37億8百万円で、畑作物の経営所得安定策における数量払を含めた取扱高は前年比87・9%の52億2千8百万円となりました。

営農サポート 春耕期作業は4月22日よりライム散布作業を開始しましたが、降雨の影響により作業に遅れ

が生じました。1番牧草は、天候と水分に恵まれ生育状況が良く、収穫作業も6月13日の開始となりました。機械の故障はありましたが13日間ほど終了し、収量としては例年より約1割増収となりました。2番牧草についても条件に恵まれ順調に終了しました。続く夏期の堆肥散布作業も、業者への委託対応もあり遅延なく作業を終了しました。食用・加工馬鈴しょ収穫については、昨年同程度の24日間、デントコーン収穫についても大雨の影響により多少の倒伏はありましたが、19日間と短期間で終了。前半の作業は天候不順の影響を受けながらも概ね順調に進みました。

豆収穫期には高温多湿により、大豆の葉落ちの悪さや青莢が目立ち収穫作業が遅れ、10月29日の終了となりました。秋期の耕起・砕土作業においては概ね計画通りでしたが、堆肥散布と心土破碎についてはハーフソイラへの変更なども含め、計画比15%減で今年度の全作業を終了しました。

事業取扱高は、施工料で前年比96・4%、利用料で同99・3%となり、全体取扱高では、同98・3%の2億8千7百万円となりました。

畜産

酪農は生乳生産が回復しつつあり増産基調にあるものの、暑熱の影響による乳量減少や飲用乳の消費停滞など、需給バランスにかかる課題を抱えております。特に脱脂粉乳は慢性的な過剰在庫を解消するための出口対策に苦慮しており、新しい消費分野の模索も含めたニーズ開拓が求められ

ています。また、生産資材価格は依然として高止まりの状況にあり、乳価の引き上げによる収入増加が見込まれつつも、投資にむける余裕が生じる水準には遠く、持続性への不安を払しょくできる状況には至っておりません。

令和7年度累計出荷乳量は55,566t（前年比101・3%）となり、重点課題である乳量向上への対策として町と一体となり搾乳機器衛生対策としてゴム部品交換やクモの巢除去・害虫駆除への助成、生乳集荷前検査による抗生物質事故防止対策、バルククーラー・ミルカーの全戸点検、バルク乳モニター検査、生乳増産奨励対策、牛サルモネラ症予防対策を実施しました。

肉牛については、全国的な黒毛和種繁殖牛の減少を要因とした市場上場頭数の減少により個体販売価格の上昇が続きました。令和7年度は安定した販売環境に恵まれましたが、枝肉価格の上昇は消費の低下につながる懸念もあり、酪農同様に需給や経営コストの高騰による持続性への不安を抱えております。

肉牛振興対策では、優良繁殖雌牛の維持・増頭及び「うらほろ和牛」の生産振興を図るため肉用牛生産基盤強化対策事業を実施し、繁殖牛の導入・自家保留および増頭による助成を154頭（前年対比107・7%）、肥育素牛の導入は24頭（同120・0%）、育種価未判明牛の導入は14頭（同100・0%）、早期改良を目的としたゲノム検査への助成は57頭（同121・3%）、後代検定への協力支援は21頭（同105・0%）の実績となりました。

た。

畜産物取扱高は補給金を含めた乳代70億7千9百万円、乳用牛3億1千万円（1,125頭）、肉用牛23億8千万円（6,353頭）、馬を含めた総取扱高は97億7千4百万円となりました。

剰余金処分案

令和7年度の当期末処分剰余金は8千2百10万円です。そのうち出資配当金として払込済出資金の0・5%相当の5百85万円、肥料・農薬・飼料などの利用に対する事業分量配当金に3千万円を充当、利益準備金・任意積立金の内部留保に3千8百76万円、次期繰越剰余金として7百48万円とすることで可決されました。

令和8年度事業方針

本年度の事業計画にあたり信用事業では窓口での人的コミュニケーションを大切に、生活メインバンクとしてご利用いただける信頼性と顧客満足度の向上を図るとともに上昇局面にある



事業計画説明

金利変動への適切な対応とキャンペーン等の情報発信により信用の証である貯金残高の伸長に努めてまいります。

農産事業では地域ブランドの発信と実需者ニーズへのアプローチとして、契約栽培を念頭に実需との結びつきを強くし、福白金時、大手亡の安定供給と白花生の作付維持に努め、生産者の再生可能な価格の実現を目指します。

赤系金時では「秋晴れ」の作付けを推進し、品質向上と安定供給に向けた体制作りを目指します。

畜産事業では酪農生産振興対策として各種助成事業を継続し持続的・安定的な経営基盤強化を目指し現場対応の強化と良質乳生産体制の充実を図ります。肉牛生産振興対策としては、高い生産性が期待できる多様な血統の導入により牛群の改良に努め持続可能な生産基盤の整備と強化を図ります。また、補助事業等を活用し飼養環境の改善や生産性の向上に資する取り組みを支援し、さらに地域に密着した事業展開では関係機関と連携し環境に即した経営を啓蒙してまいります。

生産資材事業では組合員の農業経営の安定・収益性の向上による強固な生産基盤の確立に努めます。具体的には資材品の安定供給とコスト削減に向けた提案を継続的に実施するとともに、対話を通じた信頼関係を構築する予約販売により系統利用率向上を目指します。

最後になりますが、本年も農作業事故・災害なく組合員の努力が報われる1年であることをご祈念申し上げ事業方針といたします。



就任挨拶

信用担当理事

高橋 和也

組合員の皆様には、日頃より信用・共済事業に特段のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。この度の通常総会での選任により、浅利前信用担当理事の後任として信用担当理事に就任いたしました。

信用事業は、長年続いたマイナス金利の解除や金融政策の変動、金融犯罪の巧妙化など、多くの課題に直面しております。こうした中、より高度な対応が求められる状況にあり、一層の適切な信用業務の運営とリスク管理を徹底し、安心・安全な金融サービスの提供を目指してまいります。

若輩者ではございますが、農業者の所得向上や経営改善を支援し、組合の安定と発展に努めてまいれる所存です。今後ともご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げますとともに、組合員の皆様並びにご家族のご健勝を心よりお祈り申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



退任挨拶

前 信用担当理事

浅利 尚宏

この度、4月1日付の人事異動に伴い、6月5日の通常総会をもって理事を退任いたしました。在任中は皆様から多大なるご支援とご厚誼を賜り、心より深く感謝申し上げます。

信用担当理事という重責を担い、職務と向き合った1年間は、私にとって非常に貴重な財産となりました。後任には、豊富な知見を持つ高橋信用部長が信用担当理事に就任いたしました。当組合の信用事業が、新しい体制のもとでより一層発展していくものと確信しております。

私は今後、総務部の職員として立場を変えますが、組織の安定と成長のために精一杯尽力する所存です。誌面をお借りしての略儀ではございますが、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。



第3回理事会



6月5日、役員室において理事会を開催し、議案6件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・審査担当理事及び信用担当理事の選任（変更）について
- ・理事の職務代理順位の決定（変更）について
- ・役員報酬の支給について（第51回通常総会・議案第4号付議）
- ・役員退職慰労金の支給について（第51回通常総会・議案第6号付議）
- ・業務報告書の行政庁提出について

○報告事項

- △総務部▽
 - ・人事の発令について
- △信用部▽
 - ・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- △営農販売部▽
 - ・農作物進捗状況について
 - ・受託作業進捗状況について

・固定資産の取得について
△機器装置▽
バルククーラー冷凍機
Eスター冷凍機（5HP）
2台



第4回理事会



6月22日、役員室において理事会を開催し、議案2件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

- ・役員賠償責任保険の契約締結について
- ・固定資産の取得について
△車輻▽
フォークリフト TCM・FDE35APIT

○報告事項

- △総務部▽
 - ・浦幌トラック株式会社 令和7年度剰余金処分について
 - ・令和7年度期末監査報告書の所見に対する対応について

△信用部▽

・令和8年度 JAバンク経営戦略シート」の策定について

△営農販売部▽

- ・固定資産の取得について
△工具器具備品▽
メッシュコンテナ M-1（110基）
- △構築物▽
西町倉庫舗装補修工事
429㎡
- △車輻▽
公用車（新車）

△総務部▽

- ・農作物進捗状況について
- ・受託作業進捗状況について
- ・生乳生産動向について

第3回 でん粉原料用馬鈴しょ栽培共励会表彰式



集合写真

渡部さんは
畑作と肉牛の
複合経営を行
っており、畑
作は馬鈴薯・



渡部順一さん

6月4日、ANAクラウンプラザホテル札幌で『第3回でん粉原料用馬鈴しょ栽培共励会表彰式』が開催されました。道内各地から生産者や関係者が集い、でん粉原料用馬鈴しょ栽培において優れた技術や成果を収めた方々が表彰されました。
選考は全道の各系統でん粉工場から1名ずつが推薦され、ホクレンが事務局を務める審査委員会（道や振興局も参加）によって、7つの賞に選ばれます。令和7年度の東工連管轄では、宝生地区の渡部順一さんが選出され「北海道十勝総合振興局長賞」を受賞しました。



「北海道十勝総合振興局長賞」授与

豆類・秋播小麦・てん菜を作付し、牛糞堆肥はすべて自家対応により、輪作の維持と遅堀り中心体型の両立を図っています。令和7年産でん粉原料用馬鈴薯の耕作面積は5・9ha（コナヒメ6・4ha、コナユタカ2・5ha）、栽植密度は3,750株/10aと疎植栽培を行っており、一株当たりの塊茎肥大スペースを確保することによって、反収・ライマン価を高め、令和7年産のでん粉収量は1,000kg/10aを超える成績となりました。
十勝農業試験場及び十勝農業改良普及センターが推奨している疎植栽培を実施しており、高いでん粉収量を確保、創意工夫した対応などが評価されました。

馬 勉強会



勉強会の様子

5月28日、浦幌町の家畜共進会場で馬の審査に関する勉強会が行われました。当日は、十勝農協連の斉藤氏を講師に招き、馬を審査する際の重要なポイントや評価基準について講義が行われました。勉強会には、笹島秀昭氏が所有する馬2頭が参加し、講師の指導のもと、馬の向きを細かく調整したり、実際に歩かせたりしながら審査の手順を確認していきましました。また、審査における「見せ方」の技術として、馬の筋肉の凹凸や骨格の輪郭が最も美しく映えるよう、光源を意識して立ち位置を調整する手法も学びました。参加者は、審査員に馬の良さを正確に伝えるための細かな動作一つひとつを熱心に学んでいました。

第59回 浦幌町家畜共進会



「あまおとめ」号



「みこと」号

5月28日、第59回浦幌町家畜共進会が乳牛12頭と肉牛27頭の出陳により開催されました。

会場では和牛肉やハンバーグの販売、最高位審査での予想投票等のイベントも行われ、来場者・出陳者ともに終始穏やかに楽しい時間を過ごすことができました。

審査は（一社）ジェネティクス北海道の早川泰斗氏（乳牛の部）、十勝農業協同組合連合会の山中格氏（肉牛の部）により厳正に行われ、出陳牛の発育や体型・骨格等の比較により序列が決められました。馬の部は、十勝農業協同組合連合会の斎藤哲氏を講師に招き、馬の見方に関する勉強会が行われました。

また、肉牛の部では十勝共進会への出場に向けた研修や群編成の検討も併せて実施し、出陳者や担当職員は一層の団結と意識高揚を共有していました。今後の更なる躍進を期待しています。



「サニーライズ コスモ パイルス グリン」号 「サニーライズ ウインド イット レベツカ」号



閉会挨拶（山本副町長）

第59回 浦幌町家畜共進会最終成績

（出陳者名敬称略）

○乳牛の部

区分・順位	名 号	出陳者	住 所
未經産の部	最 高 位	サニーライズ ウインド イット レベツカ	（株）サニーライズ 活 平
	準最高位	オーバーヒル ドーナツツ ブルズアイ V RED	森 崎 蓮 平 和
経 産 の 部	最 高 位	サニーライズ コスモ パイルス グリン	（株）サニーライズ 活 平
	準最高位	LH ロクシー ブーティー エンデバー 8 ET	（有）ランドハート 大 平

○肉牛の部（黒毛和種・雌）

区分・順位	名 号	出陳者	住 所
最 高 位	あ ま お と め	高 田 哲 雄	宝 生
	準最高位	み こ と	高 田 哲 雄 宝 生

新パズル(7月)

G	U	L	S	R	T	A	B	M
E	T	I	K	T	G	O	D	A
L	E	E	W	H	A	L	E	R
E	F	F	A	R	I	G	I	T
P	E	S	H	E	E	P	A	E
H	A	S	B	T	A	A	N	N
A	G	T	U	T	O	E	A	E
N	L	A	C	O	W	L	W	H
T	E	C	L	A	M	F	S	Y

BAT(蝙蝠) BOAR(雄豚) CAT(猫)
 CLAM(蛤) COW(雌牛) CUB(子熊)
 DOG(犬) EAGLE(鷲) EEL(鰻)
 ELEPHANT(象) FLEA(蚤)
 GIRAFFE(麒麟) HAWK(鷹)
 HEN(雌鶏) KITE(鳶) MARTEN(貂)
 MOUSE(鼠) OTTER(川獺) OWL(梟)
 SHEEP(羊) SLOTH(樹懶) SLUG(蛞蝓)
 STAG(5歳以上の雄鹿) SWAN(白鳥)
 TAPIR(獾) WHALE(鯨)

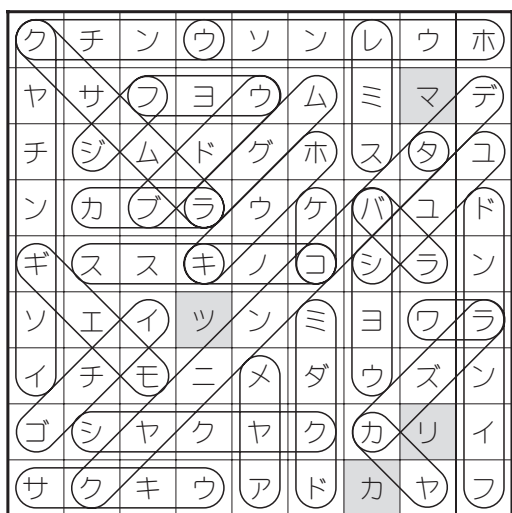
□ 解き方

今回は、生き物の英語を並べてみました(カッコ内は意味です)。使わなかった文字を上から順に並べてできる生き物の英語を見つけてください。

□ 発表表

正解は本紙8月号に掲載します

※ご意見・ご要望等ございましたら、企画振興課教育情報係までお問合せ下さい。(TEL…57817068)



6月号の
マツリカ(茉莉花)
 でした



玉ねぎ植え付け



竹立て作業(白花豆)

6月10日、浦幌町立浦幌小学校(山上文博校長)の3年生22名を対象にJAうらほろ青年部による子ども農業体験学習を開催しました。当日は、トラクターによる畑の整地作業を間近で見学した後、じゃがいも、大豆、カボチャ、玉ねぎ、白花豆、とうもろこし、トマト、パプリカの計8品目の植え付けを行いました。子どもたちは

青年部活動(子ども農業体験)



全員で「減ポーズ」

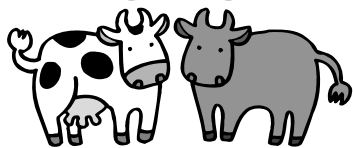
青年部員の指導を受けながら、株の間隔を測ったり、丁寧に土をかけたりと熱心に作業に取り組みました。

担当した川畑隆祐副部長は「秋に予定している収穫祭に向けて、日々の草取りはもちろん、しっかりと観察して、どうすれば美味しくなるかを考えながら野菜を育てましょう」と話しました。

今後は収穫に向けた管理作業を行い、秋には収穫した野菜を使ってピザ作りを行う計画です。

ちくさん

情報



詳しくは
宮農販売部
畜産課まで
お問い合わせ
下さい
☎576-4115

◎ホクレン十勝家畜市場

・育成市場（6月11日）（単位：円 ※税込み価格）

	販売頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛	3	392,700	271,700	332,200	380,034

・乳牛市場（6月8日）（単位：円 ※税込み価格）

	販売頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初産牛(ET除)	25	719,400	514,800	634,172	622,845
初妊牛(ET)	4	844,800	682,000	764,225	824,039
経産牛	4	497,200	432,300	467,500	507,236

次回市場 育成牛 7月9日（農協順：18）

乳牛 7月7日（農協順：17）

8月市場 育成牛 8月6日（農協順：2）

乳牛 8月4日（農協順：7）

・肉牛市場（6月4日）（単位：円 ※税込み価格）

	販売頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢)	43	1,060,400	778,800	882,456	917,986
和牛素牛(雌)	46	894,300	686,400	818,878	821,737
繁殖雌牛	7	960,300	559,900	773,771	906,186
廃用牛	13	841,500	168,300	552,031	625,268

次回市場 7月2日・14日

（農協順 黒毛：4・交雑牛：9・黒毛：9）

8月市場 8月19日

（農協順 交雑牛：1）

◎ホクレン十勝枝肉市場（6月市場平均）

（単位：kg/円 ※税抜単価）

	A-5	A-4	A-3	A-2	平均単価
和牛	2,394	2,189	1,925	1,640	2,346
	AB-5	AB-4	AB-3	AB-2	平均単価
交雑種				1,610	1,610

次回市場 7月4日・18日

8月市場 8月1日

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場

7月開催日

3日・7日・10日・14日・17日・21日・24日・28日・31日

8月開催日

4日・7日・10日・14日・18日・21日・25日・28日

◎畜産公社出荷日 7月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

へ野生動物による子牛の被害について②

前回に引き続き、近年北海道でも野生動物による畜産被害が課題となっておりその中で子牛への被害をご紹介します。子牛は体が小さく逃げる力も弱い為「キツネ」や「カラス」（感染症媒介動物）からの被害を受けやすく、重傷化になることもあり、経済的損失だけでなく生産者の精神的負担にもつながっています。また、けがによる傷口の悪化や皮膚炎、細菌（バイ菌）の増殖によって腫れなどの症状が現れます。

もう一つに衛生的被害も挙げられ、子牛は免疫力がない分、ウイルス感染にとても弱く、カラスの糞便等でサルモネラ菌の感染拡大などが危惧されます。感染防除の観点から見てもカラス対策の意識向上が必要となります。カラスは頭の良い動物であり、弱った子牛や子牛の皮膚を柔らかい組織を突き、傷害・食害することがあります。

次回は野生動物の被害から守る「被害対策」についてお伝え致します。

◎浦幌町の乳牛頭数（搾乳農家）5月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
4,965頭	626頭	5,591頭	2,605頭	8,196頭

◎生乳生産量（5月出荷分）

実績乳量	前年実績対比	4～5月実績乳量	4～5月前年対比	搾乳牛1日1頭当乳量
4,803t	98.3%	9,506t	99.4%	31.2kg

◎生乳成分と乳代単価（5月）

項目	脂肪率%	無脂固形分%	単価内訳(円)			
			生乳単価	補給金単価	集送乳調整金	合計
浦幌町	4.00	8.91	117.39	7.41	2.30	127.10
十勝	4.03	8.87	117.52	7.41	2.30	127.23
全道	4.12	8.88	118.78	7.41	2.30	128.49

※乳代について(令和2年4月分より共販経費控除前の金額を使用しております。)

◎衛生的乳質検査結果（5月）

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3	1	
浦幌町	104 (96.2)	4 (3.8)	0 (0.0)	96 (92.3)	36
十勝	2,696 (97.4)	64 (2.3)	6 (0.3)	2,559 (94.9)	922
全道	11,739 (96.6)	386 (3.1)	16 (0.3)	10,366 (90.1)	4,049

※上段は3旬計の件数：下段（ ）は%

花壇整備

6月9日、当JA本所事務所の花壇整備を行い、ベゴニア・マリーゴールド・サルビアが植えられました。これからピンク・オレンジ・紫の彩りが続々と開花していく見込みですので、ご来所の折には花々の姿をぜひご覧ください。



農業用廃プラスチック類回収

6月26日に西町事務所、29日に上浦幌支所にて、農業用廃プラスチック類の回収が浦幌トラック(株)協力のもとで行われました。

次回は11月中旬頃に農ポリ、中～下旬頃に農ビ・農薬空容器を回収予定です。環境保全のため、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。詳細な日程は決まり次第お知らせします。



身体にフィットする
ストレッチ素材に変わりました。



ベストの色がグレーに変わりました。



女性職員は4月1日から、男性職員は6月1日から制服が新しくなりました。

**職員の制服が
変わりました。**

編集後記

7月になりました。昨年の今頃は既に30℃を超える日もありましたが、今年はいまだ猛暑日には至らず、朝方は肌寒さを感じるほどです。気温差によって知らず知らずのうちに疲れが溜まっている方もいるのではないのでしょうか。疲労回復のために、あえて「何もしない時間」を作ったり、ぬるめのお湯でゆっくりと湯船に浸かったり、ビタミン豊富な夏野菜を食事に取り入れることも効果的です。心と体を労わりながら、健やかに過ごしてください。

今年の総務部の花壇は、一角にトマト・ししとう・なす・えんどう豆・ピーマン・きゅうりを植えてみました。毎日の水やりが、日常の中でのささやかなリフレッシュタイムになっています。夏本番を前にぐんぐん育つ姿を励みに、収穫まで大切に守っていききたいと思っておりますので来所の際は、ぜひ野菜の成長もご覧ください。

カレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事	項
7 / 13 (月)	第3回組合員の集い	
30 (木)	第5回理事会	